

窓辺をかえる、明日が変わる。

**TOSO トーソー株式会社**

(東証2部 証券コード : 5956 )



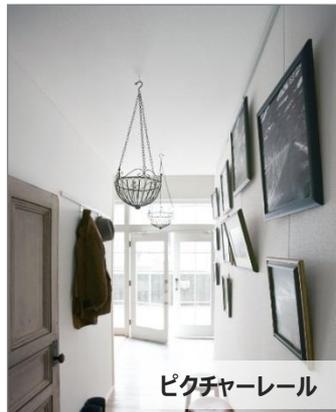
**2021年3月期 (2020年度)  
第2四半期 決算説明**

**2020年11月**

# 1. 事業環境および当社の状況

# 事業内容（主な製品）

## 室内装飾関連事業（カーテンレール類）



## 室内装飾関連事業（ブラインド類・間仕切類）



## その他の事業



### その他の事業

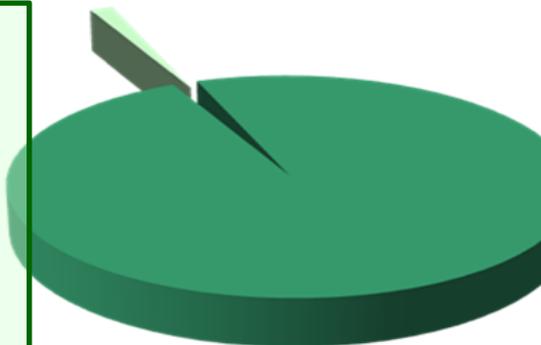
売上高構成率

2%

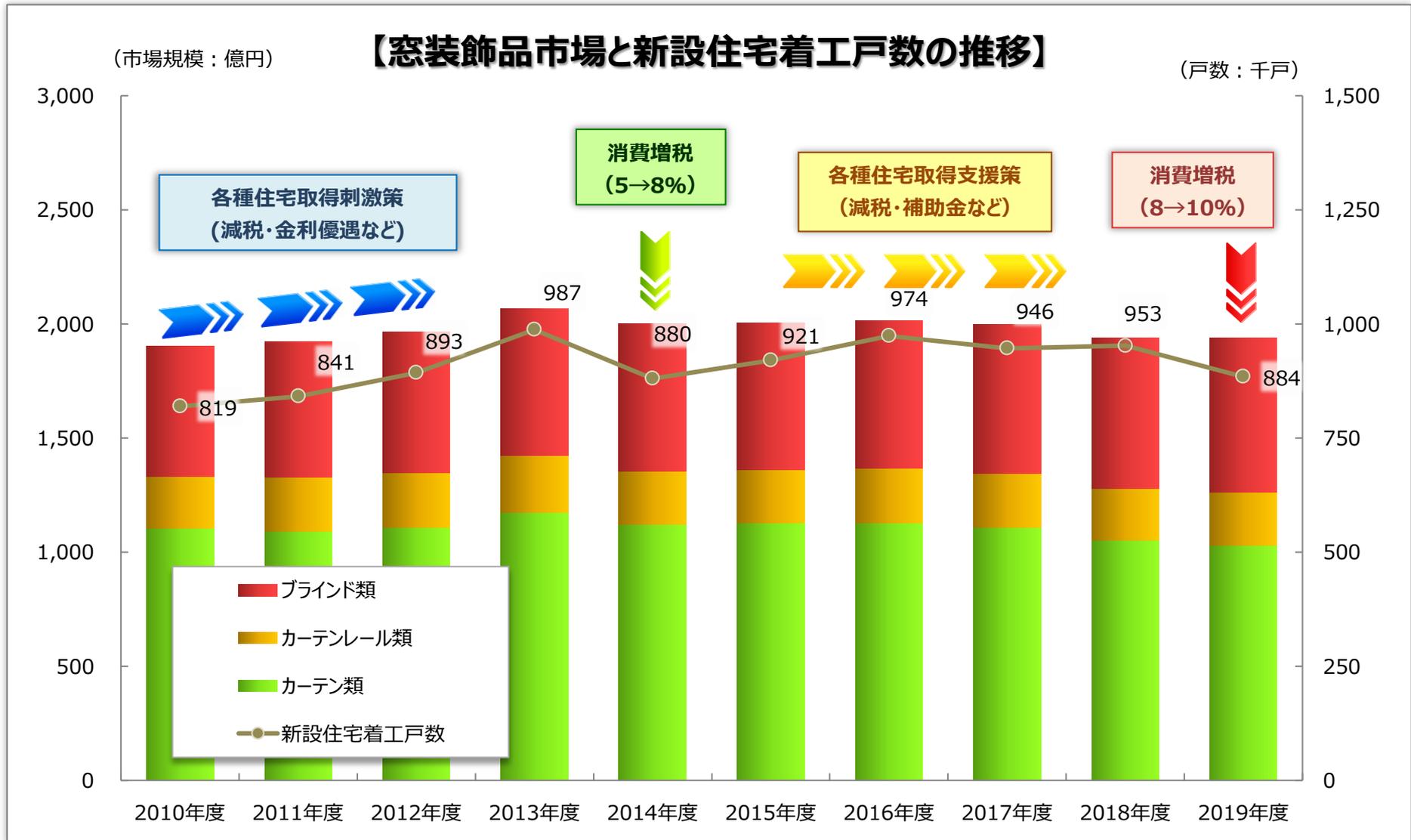
### 室内装飾関連事業

売上高構成率

98%



## 窓装飾品市場の状況



※データ出典：国土交通省、日本インテリアファブリックス協会

## 市場規模と当社シェア

カーテンレール類・ブラインド類

国内市場規模：約**900**億円（2019年度）カーテンレール類  
約**220**億円約**45**%

安定した収益基盤

TOSO

ブラインド類  
約**680**億円約**15**%

シェア拡大の余地あり

※ カーテンレール工業会およびブラインド工業会数値より当社推定

# 製品分類別 売上高構成 (室内装飾関連事業)

間仕切り類

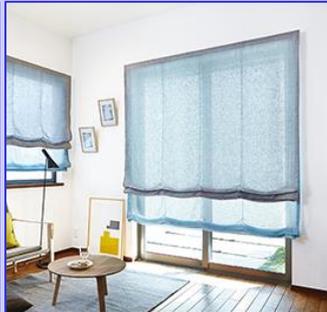
構成率 **2%**



ブラインド類

構成率 **44%**

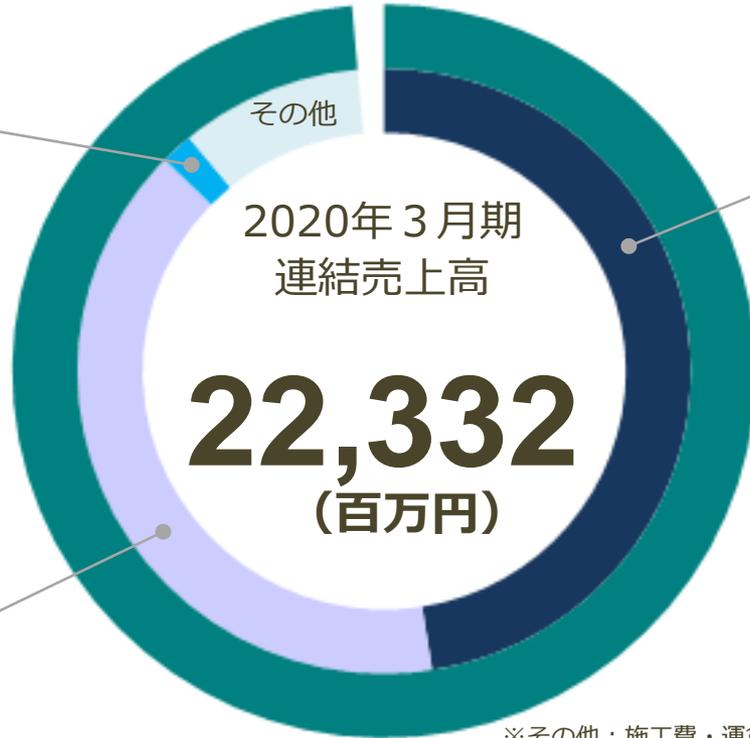
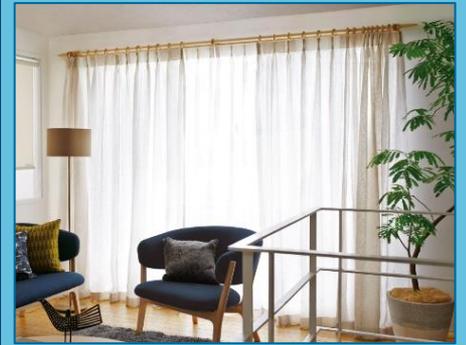
近時はシェア拡大傾向



カーテンレール類

構成率 **43%**

70年にわたり  
国内シェアNo.1



## 販売先別 売上高構成（室内装飾関連事業）

### 海外販売

構成率 約 **3** %

アジア・欧州への販売 他

### その他販売

構成率 約 **12** %

メーカーへの資材販売・OEM供給など

### 専門店・工事店

構成率 約 **73** %



住宅メーカー・工務店納入業者  
インテリア専門店・家具店  
建築金物業者・建材業者  
ゼネコン納入業者 他

### 大型小売業

構成率 約 **12** %



ホームセンター・GMS 他

### 室内装飾関連事業

売上高構成率

**98** %

新設住宅市場中心の販売

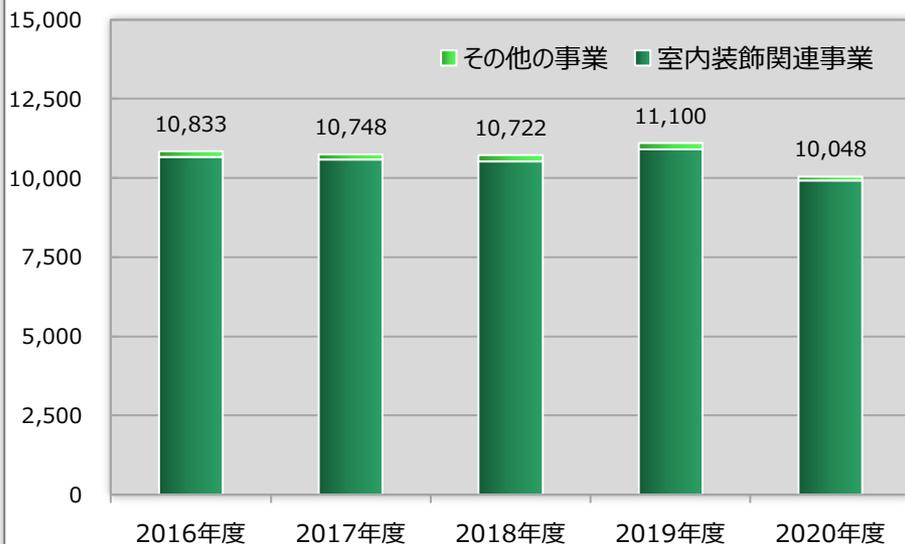
## 2. 業績概況

## 第2四半期業績概況

	前年同期比		コメント
売上高	9.5%減収	↓	前年の消費増税前駆け込み反動による落ち込み 新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の低迷
営業利益	32百万円の減益	↓	原価低減や生産性向上の推進により利益率は上昇も 売上高の減少により減益
経常利益	25百万円の減益	↓	大きな営業外損益の変動はなし
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50百万円の減益	↓	売上高の減少が影響

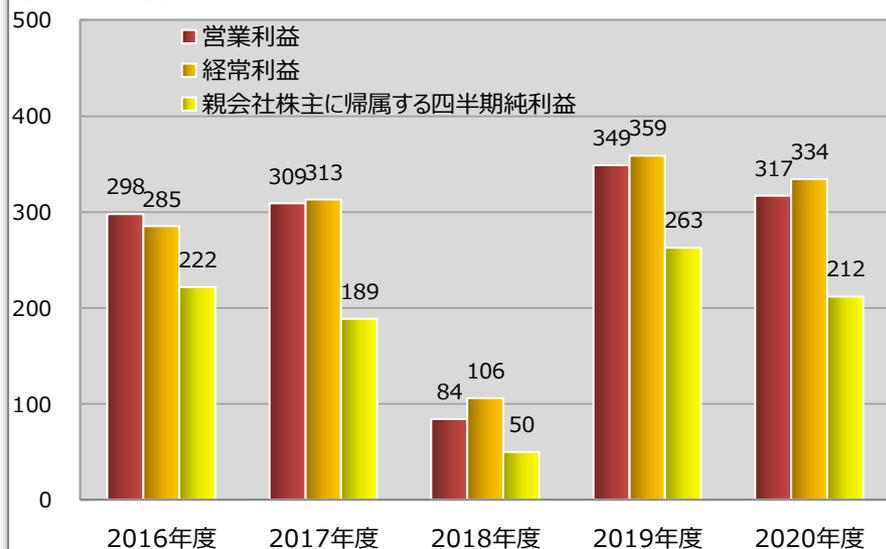
## 【売上高の推移】

(百万円)



## 【利益の推移】

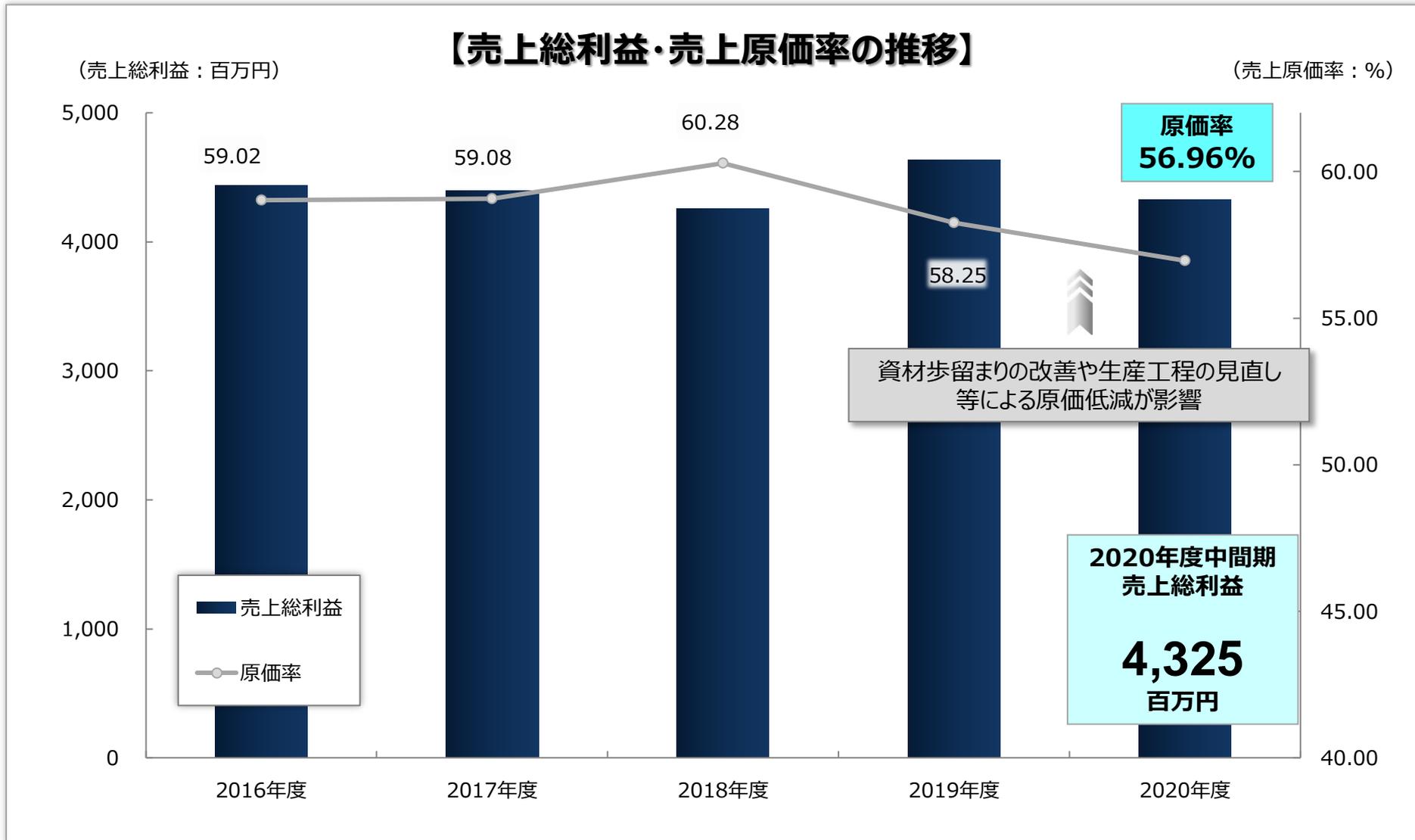
(百万円)



## 連結売上高の状況

	商品	販売状況	コメント
室内装飾関連事業	カーテンレール類 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 非住宅施設および飛沫対策需要獲得に向けたビニールカーテンを発売</li> <li>➤ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新製品を中心とした展示会の開催中止</li> <li>➤ 前年の消費増税前駆け込み需要の反動が影響</li> </ul>
	ブラインド類 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 飛沫対策用クリアロールスクリーンを発売</li> <li>➤ 非住宅施設（ホテル・医療福祉等）の獲得強化</li> <li>➤ 窓以外のスクリーン需要取り込み推進</li> </ul>
その他の事業	その他の事業 	販売状況 	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新製品のプロモーション強化による販売促進活動</li> <li>➤ 新型コロナウイルス感染症の拡大による小売店の休業や外出自粛が影響</li> </ul>

## 売上総利益と原価率の状況



## 販管費と利益の状況

## 【当期営業利益の変動要因】

コロナ禍により、販売関連費用・  
人件費・運営費等が減少したものの、  
売上減に伴う売上総利益の減少が影響

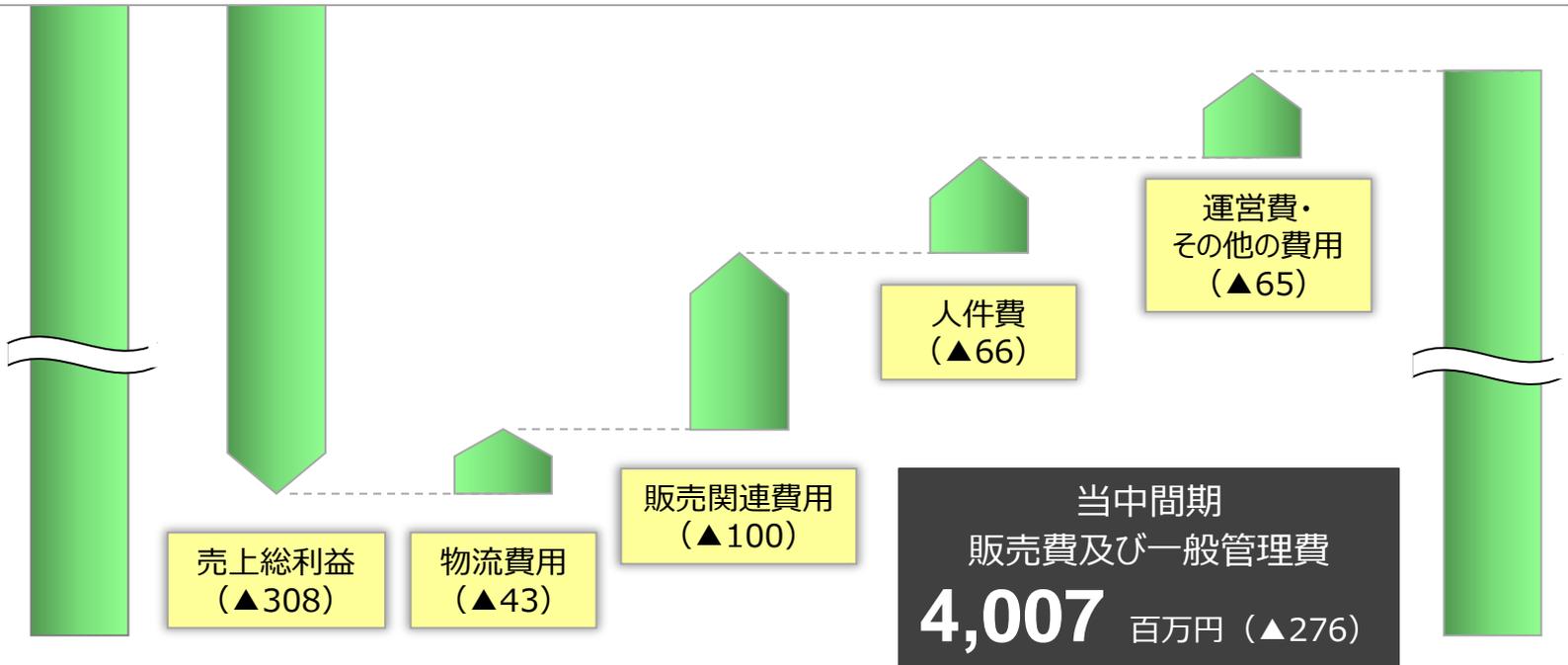
前中間期  
営業利益

349

百万円

当中間期  
営業利益

317

百万円  
(▲32)前期  
実績

※ ( ) 内の数値は前年同期との増減金額 単位：百万円

## 貸借対照表・キャッシュフローの状況

## 【貸借対照表】

※単位：百万円( )内は前期末比増減

## 《主な変動要因》

## 流動資産

- ・現金及び預金 (+485)
- ・受取手形及び売掛金 (▲1,074)
- など

## 固定資産

- ・有形固定資産 (▲51)
- ・無形固定資産 (▲39)
- ・投資有価証券 (+66) など

総資産 **19,869** 百万円 (▲915)流動資産  
**14,718** (▲914)固定資産  
**5,151** (▲0)

## 負債

**8,541** (▲1,043)有利子負債  
**2,872**(▲58)純資産  
**11,910**(+127)

## 《主な変動要因》

## 負債の部

- ・支払手形及び買掛金 (▲209)
- ・電子記録債務 (▲354)
- ・短期借入金 (+318) など

## 純資産の部

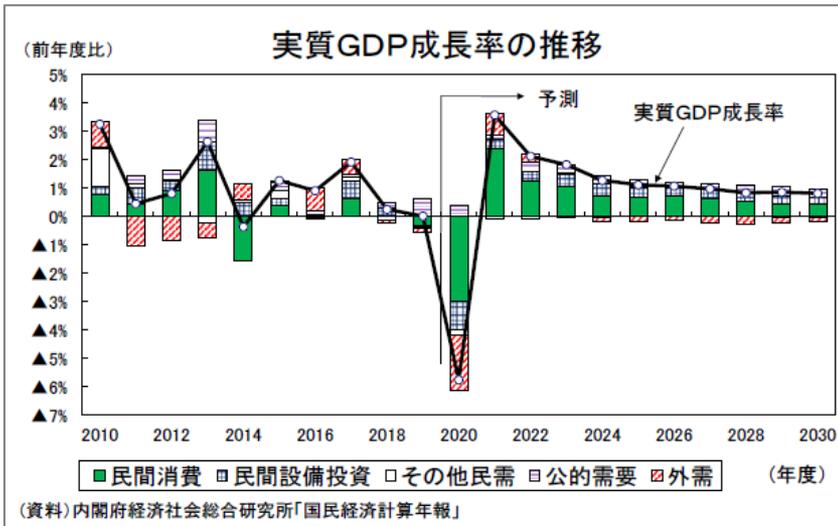
- ・利益剰余金 (+168)
- ・その他有価証券評価差額金 (+47)
- など

## 【キャッシュフロー計算書】

	前中間期	当中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>989</b> 百万円	<b>750</b> 百万円	<b>239</b> 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲204</b> 百万円	<b>▲256</b> 百万円	<b>▲51</b> 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲45</b> 百万円	<b>▲143</b> 百万円	<b>▲97</b> 百万円

### 3. 今後の活動について

## 市場環境の見通し



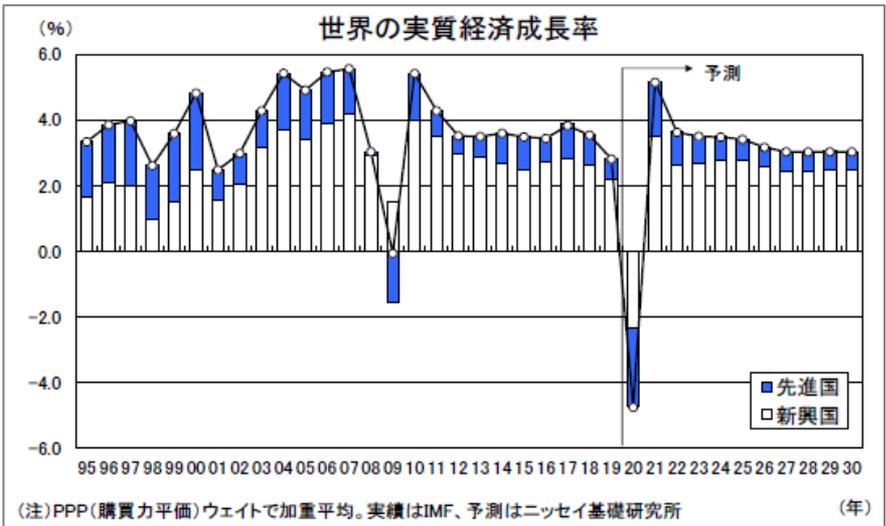
## 今後10年間の日本経済展望 ~民間シンクタンク中期経済見通しより抜粋~

2019年度末から2020年度初めにかけて、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により内外需ともに急速に悪化し、実質GDPはリーマン・ショック前後を上回る落ち込み幅となった。緊急事態宣言解除により、景気は既に底打ちしているとみられるが、回復のペースは鈍く、今後も緩やかなペースにとどまるとみられる。

経済活動の制限がなくなった場合も、失業者の増加、企業収益の悪化等、コロナ禍で経済活動の基盤が毀損してしまったことが今後の景気の下押し圧力となるとみられ、実質GDPがコロナ禍以前の水準へ戻るのには2023年となる見通し。

2012年度以降増加傾向にあった訪日外国人も、コロナ禍での入国制限により、インバウンド需要はほぼ消失した状況にある。こちらも2019年度水準を回復するのは2027年、政府が2020年の目標としていた4,000万人に達するのは2030年となる見通し。

「新しい生活様式」として、いかにウイルスと共生していくかが今後の課題となる。



## 今後の世界経済 (~2030年) ~民間シンクタンク中期経済見通しより抜粋~

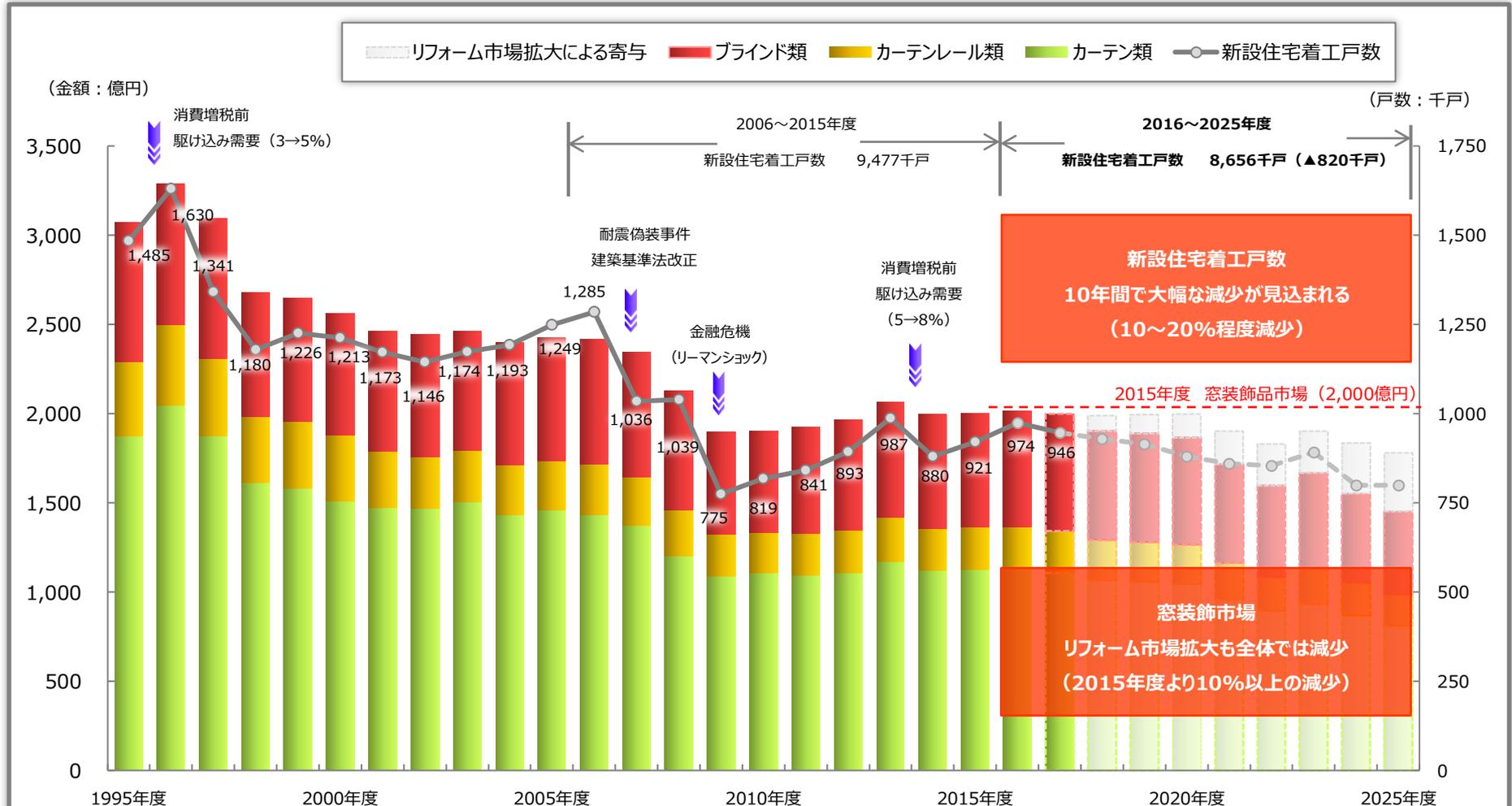
米国経済：新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が停止し、実質GDPは1947年以来、過去最大の落ち込みとなった。経済活動の段階的な再開や経済対策の効果もあり景気回復に転じてはいるものの、今後の経済動向は感染症の動向や経済対策に大きく左右され、実質GDPがコロナ以前の水準を回復するのは2022年となる見通し。

欧州経済：クラスター発生等により、多くの地域で外出制限・活動制限が実施され、経済が急停止した。観光関連産業が多い欧州は、活動制限による影響が大きく、実質GDP成長率は8.2%へと急低下する見込み。中期的には経済は回復基調をたどるが、回復力は弱く、実質GDPが2019年の水準を回復するのは2023年となる見通し。

中国経済：生産年齢人口の減少に加えて新型コロナウイルス感染症の影響により、経済の成長率は緩やかな低下傾向となる見通し。既に経済活動は再開し、回復しつつあるものの、今後も経済成長の勢いは緩やかに減速すると予想。

新型コロナウイルス感染症の動向により、国内外の経済は中期的にも不透明な状況

# 新設住宅着工戸数と窓装飾市場の中期予測



**コアビジネスに関連性の高い新設住宅着工戸数は中期的に漸減傾向**

※最新の民間シンクタンク発表「日本経済中期見通し」、「日本インテリアアプリアクセス協会資料（卸売ベース）」より当社推定

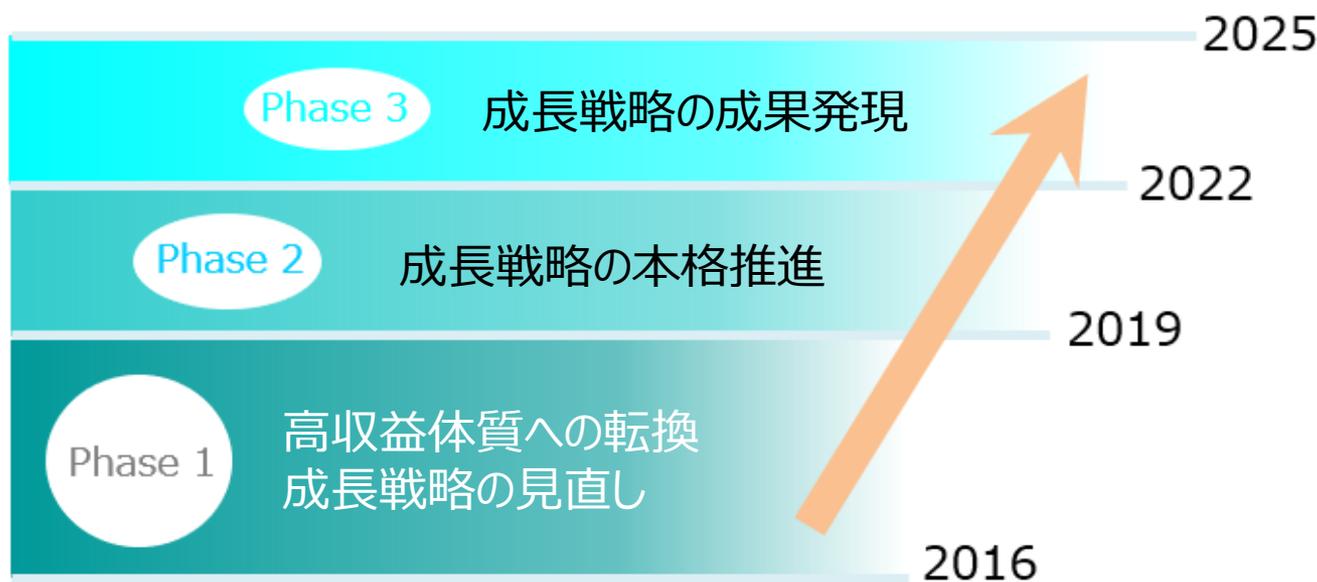
## 経営ビジョン「Vision2025」

## 【Vision2025】

～ 夢を現実に! Catch our dreams ～

10年間の経営ビジョンVision2025を推進

「Vision2025」



【Vision2025 経営目標（2025年度）】

連結売上高：270億円

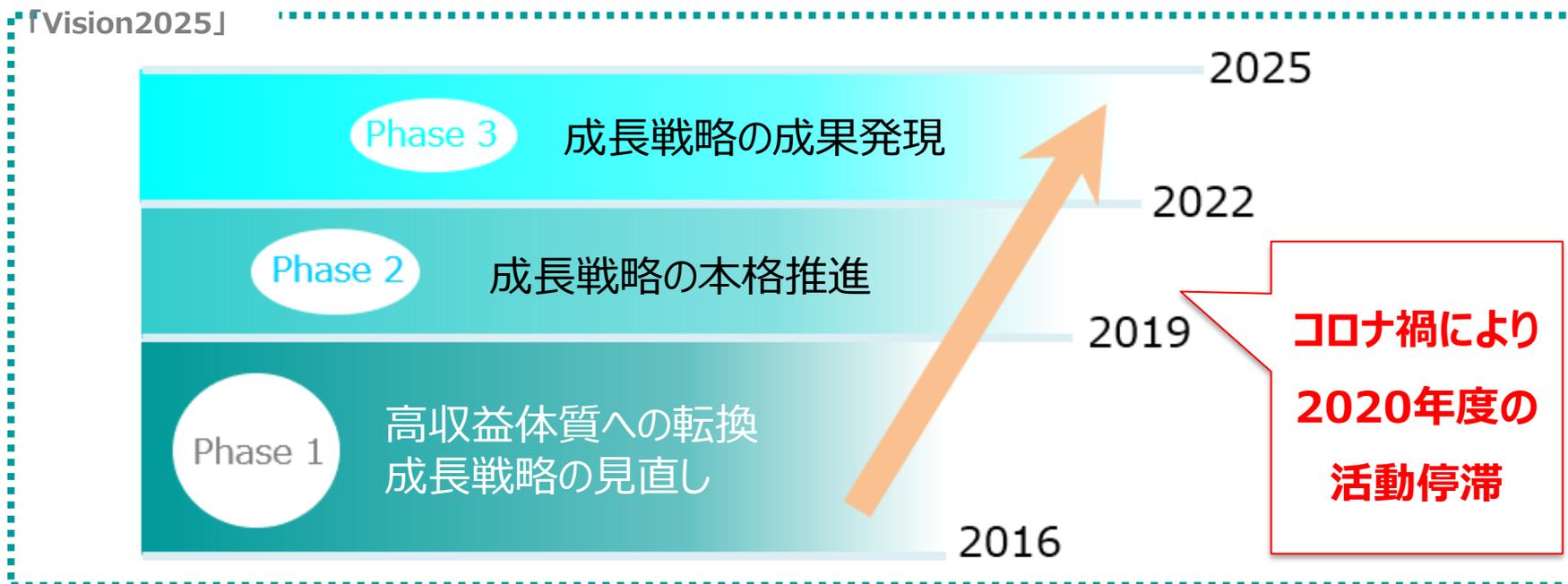
ROE：8%以上

## 経営ビジョン「Vision2025」

## 【Vision2025】

～ 夢を現実に! Catch our dreams ～

10年間の経営ビジョンVision2025を推進



【Vision2025 経営目標（2025年度）】

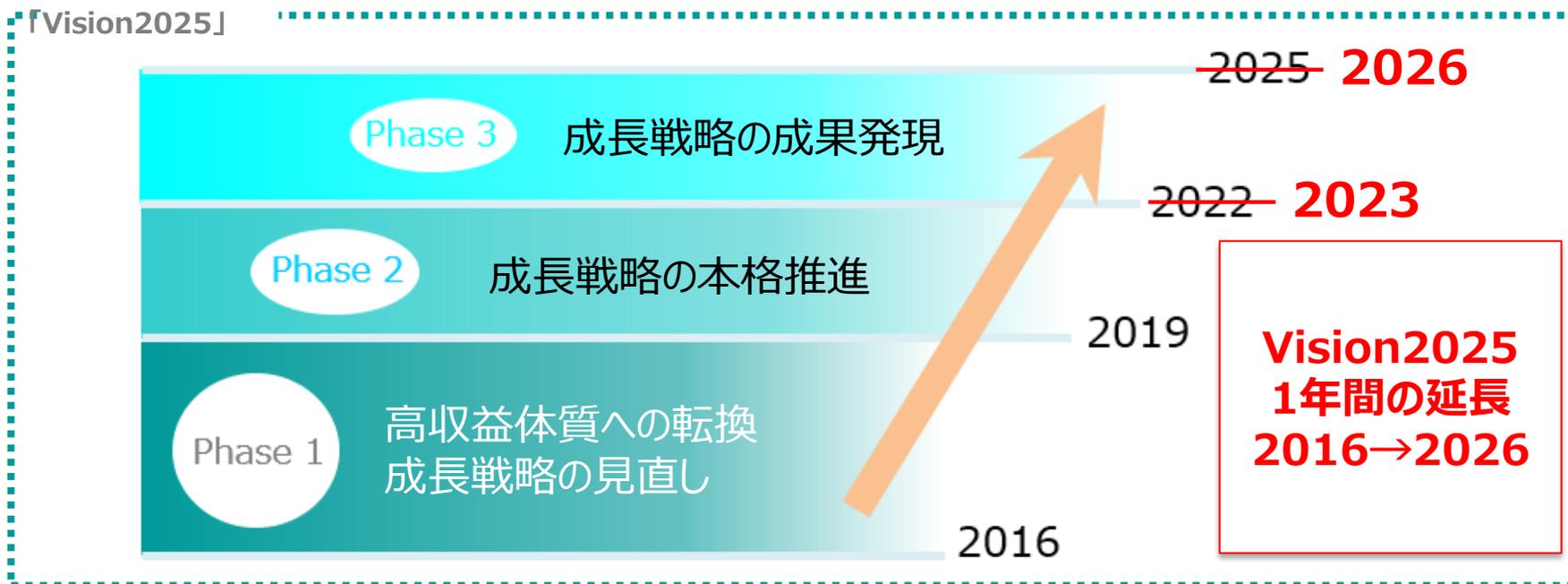
**連結売上高：270億円**      **ROE：8%以上**

## 経営ビジョン「Vision2025」

## 【Vision2025】

～ 夢を現実に! Catch our dreams ～

10年間の経営ビジョンVision2025を推進



【Vision2025 経営目標（2026年度）】

**連結売上高：270億円**      **ROE：8%以上**

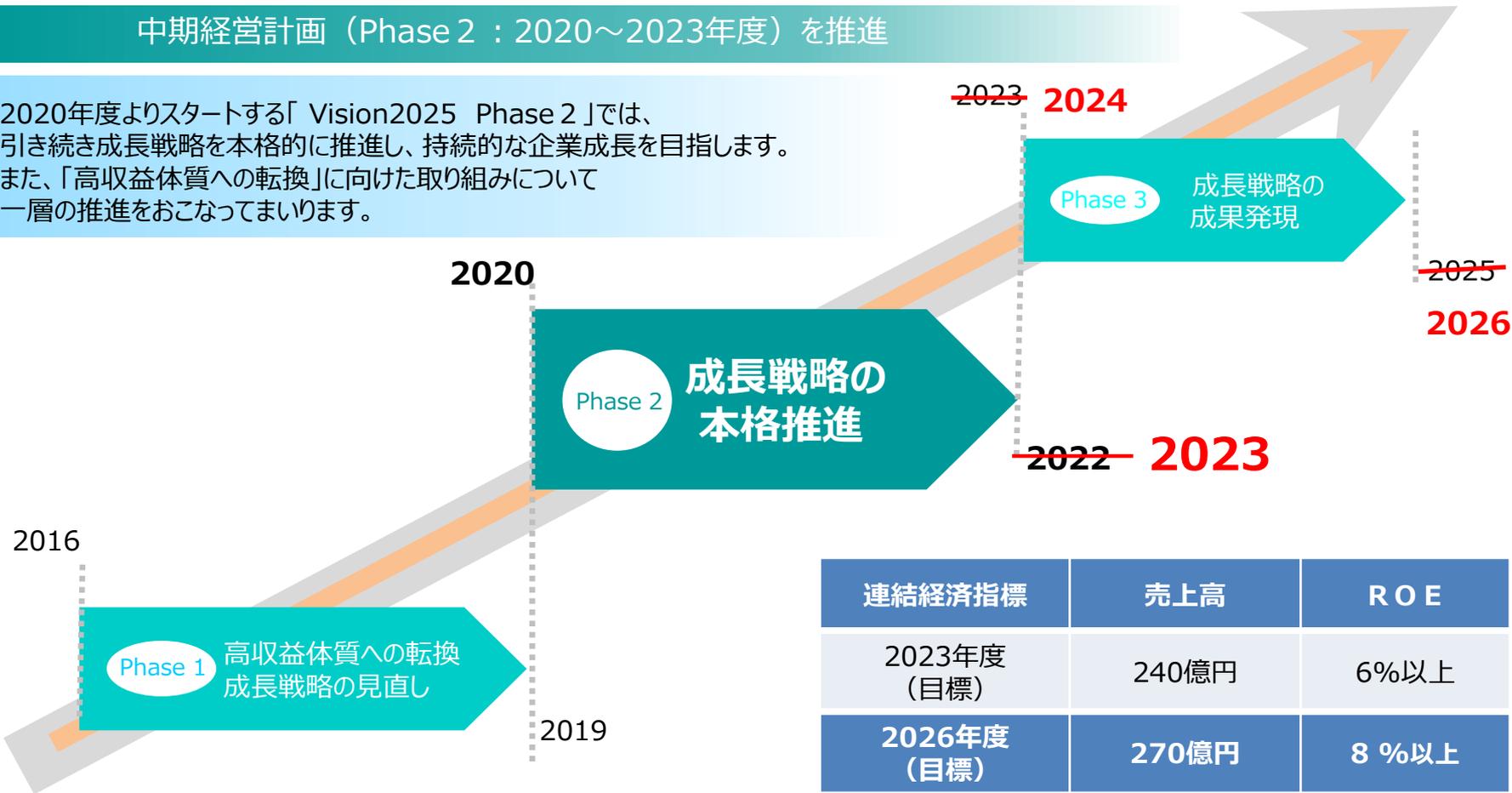
## 経営ビジョン「Vision2025」

## 【Vision2025】

～ 夢を現実に! Catch our dreams ～

中期経営計画（Phase 2：2020～2023年度）を推進

2020年度よりスタートする「Vision2025 Phase 2」では、引き続き成長戦略を本格的に推進し、持続的な企業成長を目指します。また、「高収益体質への転換」に向けた取り組みについて一層の推進をおこなってまいります。



## 中期経営計画（「Vision2025」Phase2：2020-2023年度）

### 【重点施策】

#### コアビジネスにおける 「TOSO」特有の新しい企業価値創造

- ① カーテンレールNo.1メーカーとしての当社優位性の極大化による維持・拡大
- ② 「選びやすいTOSO」を軸とした収益改善と新たな付加価値提案による維持・拡大
- ③ コアビジネス商流を活用した住宅窓周辺領域の維持・拡大
- ④ グループ企業の役割強化による維持・拡大



#### 成長戦略への重点投資による 事業領域拡大

- ① 非住宅分野：営業体制強化による医療・介護、宿泊施設等の獲得推進
- ② 用途開発：保有技術や機能・機構等を活用した既存製品の販売領域拡大
- ② 海外事業：効率的なビジネス拡大に向けた取組強化
- ③ 新規分野：歩行関連事業深耕と新たな事業へのチャレンジ



#### 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備

- ① 変化に順応した市場提案と顧客満足の体制整備
- ② 社内固有技術・技能の確実な継承
- ③ 従業員のための働きやすい環境・制度の整備
- ④ ESG・SDGsへの取り組み



## 通期業績見通し

単位：百万円

	2019年度 第2Q累計	2020年度 第2Q累計	前年同期比	2019年度 通期実績	2020年度 通期見通し	前期比
売上高	11,100	10,048	90.5%	22,687	<b>22,000</b>	<b>97.0%</b>
原価率	58.25%	56.96%	(※) 97.79%	57.84%	継続的な原価低減を推進	
販管費	4,284	4,007	93.6%	8,663	効率・採算性を重視した費用執行	
営業利益	349	317	90.8%	900	<b>700</b>	<b>77.7%</b>
経常利益	359	334	92.9%	884	<b>710</b>	<b>80.3%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	263	212	80.8%	583	<b>470</b>	<b>80.6%</b>

(※)原価率の前年同期比は、「2020年度原価率」÷「2019年度原価率」にて算出

## 【下期見通しについて】

市場環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内経済は新型コロナウイルス感染症の長期化により先行きは不透明</li> <li>新設住宅着工数の減少による国内住宅市場の停滞や新型コロナウイルス感染症による個人消費の低迷が見込まれる</li> </ul>
売上高	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーテンレールやブラインド類の新製品を中心とした拡販活動や新規顧客開拓活動等、住宅分野の深耕</li> <li>非住宅分野の拡大や海外事業の強化、新規分野の拡大等の成長領域への取り組み強化</li> </ul>
利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>高騰する物流コストへの対応</li> <li>生産工程見直し等の原価低減活動や生産性向上を推進</li> </ul>

**TOSO トーソー株式会社**  
(東証2部 証券コード : 5956 )

当資料に関するお問い合わせ先 : トーソー株式会社 経営企画室

TEL : 03-3552-5877      FAX : 03-3552-1380      E-mail : [ir@toso.co.jp](mailto:ir@toso.co.jp)